



令和6年（2024年）7月17日

熊本博物館「夏のプラネタリウム番組」について

7月13日より、熊本博物館のプラネタリウムで「夏の番組」が始まりました。一般番組・ファミリーアワー番組・リバイバル番組それぞれに、幅広い世代のニーズに応える当館おススメの内容となっています。番組の前半には、当日の星空や季節の星座解説も行っています。ぜひこの機会にご観覧いただければ幸いです。

1 投映番組名

- ①「プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模型」（一般番組）
- ②「こぐま座のティオ 12星座のなかまたち」（ファミリーアワー番組）
- ③「銀河鉄道の夜」（リバイバル番組：投映期間中の14:45～の時間帯）

2 投映期間 令和6年（2024年）7月13日（土）～

※ 投映終了日は未定（①②③とも。後日、HP等でお知らせします）。

3 投映時間帯

※ 曜日により投映番組・時間帯が異なります。下記HPでご確認ください。

4 場所 熊本博物館 プラネタリウム室（中央区古京町3-2）

5 対象 どなたでも（定員：先着170人）

※当日、開館後に券売機にて観覧チケットを購入していただきます。

※別途、入場料が必要です。

6 主催 熊本博物館 当館HP：<https://kumamoto-city-museum.jp/>



【お問い合わせ先】

教育委員会事務局 熊本博物館
電話：096-324-3500
館長：的場 弘行（まとば ひろゆき）
担当：坂本 康祐（さかもと やすまさ）
清水 稔（しみずみのる）

プラネタリウム

ドラえもん

宇宙の模型



みんなうちゅうで宇宙みを見に行こう!

あらすじ

お スネ夫からハワイで見た満天の星に感動したという

じまんばなし き た まんてん ほし み こと
自慢話を聞いたのび太たち。満天の星を見た事が

な た くや そうたん
無いのび太は悔しがり、ドラえもんにご相談すると、

しつない りょこうきぶん あじ どうぐ
室内にいながら旅行気分が味わえるひみつ道具

しつないりょこうき と た た ハヤ
『室内旅行機』を取り出し、のび太の部屋にハワイの

まんてん ほし うつ た
満天の星を映し出してくれました。

ひと たいこ むかし ほしぞら み
ドラえもんから、人は太古の昔から星空を見て、

おも めく うちゅう りかい
それぞれに思いを巡らし、宇宙を理解しようと

うちゅう もけい
さまざまな「宇宙の模型」が

つく はなし き
作られてきたという話を聞きます。

うちゅう すがた たし ほんもの
宇宙の姿を確かめるために、マイクロコピーで本物

うちゅう かんぜん さいげん てんきゅうぎ なか はい
の宇宙を完全に再現している『天球儀』の中へ入る

た うちゅうせん の うちゅうりょこう で
のび太たち。宇宙船に乗って宇宙旅行に出かけるも、

ちか す よ
ブラックホールへと近づきすぎてしまい吸い寄せら

た ふじ ちきゅう もと
れそうに！のび太たちは無事に地球に戻ることが

できるでしょうか！？